

啓翁桜の出来栄えを審査「サンファームしらたか」が最高賞の県知事賞を受賞

町花木部会より啓翁桜の贈呈が行われました
横山部会長（左）・樋口副部会長（右）

啓翁桜の品評会が1月の生産者と切磋琢磨しながら、より良いものを目指して頑張ってきた。評生産者の「サンファームしらたか」が選ばれました。栽培しておよそ30年、初の栄冠に輝きました。

2月6日に、白鷹町花木部会の横山聡部会長、樋口賢太郎副部会長らが受賞の報告に役場を訪れ、「これまで町内外



永年にわたる功績をたたえて—— 令和5年度白鷹町芸術文化協会表彰式を開催



左から獅伝（代表古名さん）、児玉さん、竹田さん

白鷹町芸術文化協会の新春のつどいに合わせて、芸術文化協会表彰式が、1月21日にパレス松風で開催されました。

これは、長年にわたり芸術文化の向上に貢献された方の功績をたたえ表彰を行うものです。受賞された皆さま誠におめでとうございます。

賞	氏名・団体名
芸術文化賞（団体）	文化継承団体 獅伝
芸術文化賞（個人）	児玉 敏さん ・高栄会（高玉芝居）
芸術文化賞（個人）	竹田 秀さん ・白鷹まんざく俳句会

町の安全・安心の確保に向け—— 災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定を締結



協定書を掲げる小沼社長（中央右）と関係者の方々

1月31日、建設機材レンタルのアクティオ（東京都・小沼直人社長）と「災害時におけるレンタル機材の供給に関する協定」を結びました。

協定内容は、町内で災害が発生した場合や災害の恐れがある場合とし、「町の安全、安心に、町の要請に応じ発電機や投光機、重機、仮設トイレなどを優先的に供給されるものです。締結式で小沼社長は、「有事の際には、一日でも早い復旧に向け全面的にバックアップする。」と話され、佐藤町長は、「発生した場合や災害の発生は頻発化している」と話され、佐藤町長は、「町の安全、安心に、町の要請に応じ発電機や投光機、重機、仮設」と感謝を述べました。

子どもたちが生き生きと活動できる環境整備のため—— ふるさと納税制度による町への寄附に感謝

このたび、株式会社NEXYZ. ファシリティーズ（東京都松井康弘代表）より、企業版ふるさと納税制度による寄附金（100万円）と空間除菌脱臭機10台の寄附をいただきました。

1月15日に、寄附金の贈呈式が町役場で行われ、町より感謝状の贈呈を行いました。誠にありがとうございました。



株式会社ネクシーズグループ 大前副社長より寄附を受ける

しらたかの紅りが灯る—— 「第5回しらたか雪紅り」が開催

2月3日、しらたかの冬の夜を彩る「第5回しらたか雪紅り」が、町内7施設を会場に行われました。

今年も、会場をまちなかエリア・わくわくエリア・ごうせつエリアの3エリアとし、全エリアを回ると景品がもらえるスタンプラリーを実施。各施設ごとに、玉こんにゃくやクラムチャウダー、ホットミルクなど、心温まる振る舞いやプレゼントで訪れた方を迎えました。また、工夫を凝らし制作された雪灯籠や雪像の明かりがじんわりと灯り、幻想的な雰囲気を出しまし



た。白鷹スキー場には、大きなトトロの雪像が出現し、子どもたちを楽しませました。関係者は、「今年は雪が少なく大変だったが、皆さんの喜ぶ姿が見られて嬉しい。」と笑顔で語っていました。

多くの家族連れでにぎわいをみせ、来場者は各会場を周遊しながらイベントを楽しみました。



さまざまな困難に打ち勝つように—— 白鷹中学校で伝統食「鯉の甘煮」が提供

1月11日、白鷹中学校2年生115名による立志の集い「登り鯉の会」が開催され、長井市の高橋鯉店（高橋剛社長）より協力いただき、生徒たちは鯉の甘煮を給食で味わいました。

これは地域の食文化を知る学習として実施しており、高橋社長は、鯉食文化の歴史や鯉の食べ方を説明した後、激

流を登った鯉が竜と化した中国の故事になぞらえ、これから来る登竜門やさまざまな苦難を乗り越え、栄光をつかんで欲しいと生徒たちを激励しました。

その後の給食では、鯉を初めて食べるという生徒も多くいましたが、「とても甘く、うま味があって美味しい。」と笑顔で味わっていました。



大谷選手からの「野球しようぜ」 寄贈クラブ町内小学校でお披露目

アメリカ・大リーグで活躍する、ロサンゼルス・ドジャース所属の大谷翔平選手が、全国の小学校に贈ったクラブが町内小学校にも届けられ、児童らにお披露目されました。

東根小学校では、全校放送にてクラブを紹介。色摩校長より大谷選手からのメッセージが読み上げられ、代表児童がクラブを開封しました。早

速手に取った児童は感觸などを伝えながら、「みんなで仲良く使って行きましょう。」と、全校児童に呼びかけました。また、鮎貝小学校でも全校集会の場でクラブが紹介され、代表児童に手渡されました。

クラブに触れた児童たちは、大谷選手に感謝しながら、「野球しようぜ！」の熱いメッセージを受け取った様子でした。



▲東根小学校



▲鮎貝小学校